

国民の声を国政に届け、未来につなぐ

今、農産物が狙われている。

農産物盗難対策について、党内の会議で発言しました。



近年、全国で農産物の盗難被害が深刻化しています。収穫直前の果物や野菜など、長い時間と労力をかけて育てた農産物が一瞬で奪われ、生産者の生活や地域農業の存続を脅かす重大な問題となっています。

党農林水産調査会において、農産物盗難対策に関する議論の中で、私は防犯対策の強化や盗品流通の防止など、生産者を守るための対策の必要性について発言しました。

盗難防止の機材であるセンサー等の農家への補助金は、農林水産省から直接支払うものは現在ありませんが、内閣府の補助金で地方自治体を通じて活用できるものがあります。農林水産省が直接支援する仕組みも必要と考えますので、実現に向け全力をあげてまいります。

農産物の盗難は、単なる物の窃盗ではありません。

生産者の生活と地域農業の持続性を脅かす問題です。

引き続き、実効性のある対策について議論を深めてまいります。

農産物盗難を防ぐために必要な主な対策

防犯カメラの設置



抑止効果が高く、証拠の確保にも有効です。

盗難防止用フェンス



侵入を防ぎ、盗難のリスクを減らします。

センサー・警報装置



侵入を感知し、早期発見につながります。

地域と警察の連携



見守り活動や情報共有で、防犯力を高めます。

盗品流通の防止



フリマアプリ等での販売を防ぎ、盗んでも得をしない仕組みを。

皆様からいただいたご意見（抜粋）

- 行政だけでなく、地域・警察・生産者が連携した防犯体制の強化が必要ではないか。
- 防犯カメラやフェンスなどへの支援制度を創設し、生産者の負担を軽減してほしい。
- フリマアプリ等での盗品流通を防ぐため、流通の追跡や法整備を進めるべきではないか。
- 盗品であることの立証が難しく、立件につながりにくい現状を改善してほしい。
- 農産物やインフラ設備の窃盗については、より厳しい罰則を検討すべきではないか。
- 国だけでなく、自治体や共済制度も含めた総合的な支援が必要ではないか。

多くの皆様から、現場だからこそ分かる貴重なご意見をいただきました。ありがとうございます。
今後の政策議論に生かしてまいります。

農業に携わってきた一人として

私は農家に生まれ育ち、知事時代も多くの生産者の皆さんのお声を伺ってきました。

農業は、天候と向き合いながら、一日一日の積み重ねで収穫を迎える仕事です。どの仕事も大変であることはもちろん承知していますが、農家の皆さんがどれほどの時間と労力、そして思いを込めて農産物を育てているのかを、子どもの頃から身近で見て育ちました。

だからこそ、収穫を目前にした農産物が盗まれることは、単なる窃盗事件ではなく、生産者の生活や地域農業そのものを脅かす深刻な問題だと考えています。

防犯対策だけでなく、盗品流通対策や法整備なども含め、実効性のある対策を引き続き対策を実行してまいります。

農家の皆さんが安心して農業を続けられる環境をつくること、食料安全保障を守る第一歩だと考えています。

8月1日街頭演説終了後、被災地支援募金を行いました。

7月28日に発生した熊本地震では、多くの方々が被災されました。被災地の一日も早い復旧・復興を願い、支援募金を実施いたしました。皆様からお預かりした募金は、責任をもって被災地へお届けいたします。温かいご支援、ご協力を心より感謝申し上げます。



ご協力
ありがとうございました

閉会中でも 国会議員は何をしているの？

「国会が閉会すると、国会議員も休みになる」と勘違いされることもありますが、実際はそうではありません。

閉会中は、地元の住民や自治体の皆様等からご意見やご要望を伺い、現地調査や視察を行うほか、関係省庁との協議や、党の部会・調査会で政策の議論を重ねています。

また、次の国会での質問づくりや、法案・政策提言の検討など、国会が開会した際に速やかに行動できるよう準備を進める大切な期間でもあります。

現場で伺ったお声を具体的な政策につなげるため、閉会中も活動を続けています。



地元の皆様や自治体から
ご要望を伺う

地域の課題やご意見を
直接伺い、政策に反映します。



現地を訪れ、課題を確認する

現地調査や視察を通じて、
実情を自分の目で確かめます。



省庁や関係団体と協議する

関係省庁や団体等と意見交換し、
課題解決に向けて協議します。



党の部会・調査会で
政策を詰める

党内での議論を深め、
より良い政策をつくり上げます。



次の国会に向けて
質問や法案を準備する

質問の準備や法案・政策提言の
検討を進めます。



山梨県道路整備促進大会に出席

令和8年度 山梨県道路整備促進大会・山梨県高速道路整備促進期成同盟会」に出席しました。冒頭、令和8年熊本地震で亡くなられた方々へ哀悼の意を表するとともに、被災された皆様へお見舞いを申し上げます。道路整備は計画から供用開始まで長い年月を要し、建設資材や人件費の高騰により、例年並みの予算では十分な事業量を確保することが難しくなっています。県民生活や地域経済を支える道路整備の重要性を訴え、山梨県の道路整備が着実に進むよう、引き続き全力で取り組む決意をお伝えしました。

なぜ道路整備が重要なのか？



災害時の命の道
緊急車両の通行や避難、
物資輸送の確保に不可欠
です。



物流・観光の活性化
円滑な物流や観光振興に
より、地域経済を支えます。



救急医療の迅速化
医療機関へのアクセス向上
で、救える命を守ります。



地域経済の発展
企業誘致や雇用創出につ
ながり、地域を元気に
します。



やまなし政治塾 開講！

国政の「今」と山梨の「これから」を一緒に学びましょう！

日時 8月22日(土) 12:00～13:30

会場 労農福祉センター (山梨県甲府市相生2丁目7-17)

講師 後藤 斎

内容 ・国政課題と現在の状況
・山梨県の課題

受講料 全4回 2,000円

応募締切 8月17日(月)

国民民主党山梨県連

やまなし政治塾

第1回講師

後藤 斎

8月22日(土)
12:00～13:30

講義内容



お申込みはこちら



所属委員会等

- 国土交通委員会 理事
- 政治改革特別委員会
- 行政監視委員会
オブザーバー理事

党役職

- 選挙制度調査会長
- 農林水産部会副会長
- 政治改革・行政改革
推進本部 本部長代理
- 政務調査会 筆頭副会長

政府役職

- 国土審議会
豪雪地帯対策分科会特別委員
- 国土開発幹線自動車道
建設会議委員

略 歴

- 1957年 山梨県生まれ
- 東北大学経済学部卒業
- 農林水産省勤務
- 衆議院議員 4期
- 山梨県知事

お問い合わせ

後藤斎事務所

TEL:055-243-1510

E-mail:info@go510.jp